

抗NMDAR抗体（CBA法）定性・半定量 受託測定のご案内

抗 NMDAR 抗体（N-メチル-D-アスパラギン酸受容体抗体）とは^{※1}

イオンチャネル型グルタミン酸受容体の一種、N-メチル-D-アスパラギン酸（NMDA）受容体を抗原とする自己抗体です。NMDA受容体を構成するサブユニットはNR1とNR2（ヘテロ2量体、2セットの4量体）であり、特にNR1上の細胞外アミノ酸末端にある立体構造（conformational epitope）に結合する自己抗体は、抗GluN1抗体とも呼ばれ、抗NMDAR脳炎に関与するといわれています。

抗NMDAR脳炎とは^{※1}

2007年Dalmauらによって自己免疫性脳炎（autoimmune encephalitis；AE）として提唱された疾患で、近年はGrausらが提唱する診断基準^{※2}が用いられることが多いといわれています。症状として、精神症状や記憶力障害、意識障害、けいれん発作、異常運動、自律神経症状、中枢性低換気などを呈し、また卵巣奇形腫を併発し得る疾患です。

抗NMDAR脳炎の治療においては、急性期から積極的な免疫療法が重要とされています。

なお、病勢と抗体価は相関することが多く、重篤な病初期には高い力価の検出、また免疫治療（あるいは腫瘍切除）により力価が減少するといわれています。

※1 参考)「自己免疫性脳炎・関連疾患ハンドブック」より

※2 参考) Graus F, et al. A clinical approach to diagnosis of autoimmune encephalitis. Lancet Neurol 2016; 15: 391-404.

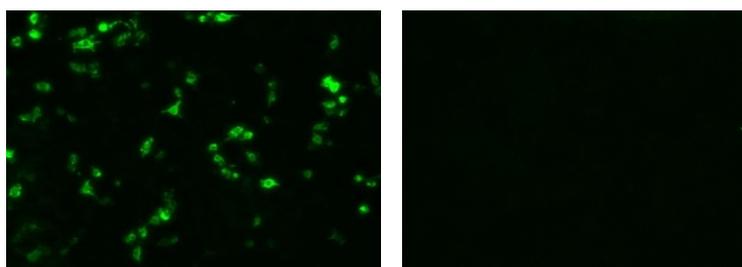
【測定原理】 Cell-Based Assay；CBA法

【報告結果】

定性検査	陰性、陽性 のいずれか
半定量検査 ^{※3}	陰性、1倍（陽性）、20倍（陽性）、400倍（陽性）のいずれか

※3 定性検査と同じ希釈倍率（1倍）を基準として陽性の場合、既定の希釈倍率（1倍、20倍、400倍）のうち、陽性と判定した最大の希釈倍率を報告結果としてお返しいたします。希釈倍率（1倍）において陰性と判定した場合、報告結果は「陰性」です。

≪判定画像 一例≫



NMDA-receptor (transfected cells)

Non-transfected cells

◆受託測定の流れ・注意事項◆

◇価格

項目名	測定料	
	定価	キャンペーン価格
抗 NMDAR 抗体（定性）	30,000 円 (税込 33,000 円)	20,000 円 (税込 22,000 円)
抗 NMDAR 抗体（半定量）	40,000 円 (税込 44,000 円)	27,000 円 (税込 29,700 円)

「**キャンペーンの価格の適用は予告なく終了する場合がございます**」

◇ご報告

弊社に検体が届いてから**15営業日以内**でご報告いたします。

◇材料及び必要量

髄液 500μL

採取後、-10℃以下の凍結にて保存してください。

◇発送方法

弊社HPから測定の申込みを行った後、申込書を同封し、検体は**凍結状態で弊社に到着するように、ご発送**ください。

検体到着は、平日 月曜日～金曜日の午前中着指定をお願いいたします。

◇注意事項

お預かりする検体は、原則、検査終了後に廃棄いたします。弊社にて保管することはいたしかねますのでご了承ください。

患者名等の個人情報に記載されている場合、受付をお断りする場合がございます。

通し番号等暗号化処理をした上でご依頼頂くようお願いいたします。

本検査は研究を目的とした検査の為、検査結果を診断に使用することはできません。

また、保険請求することもできませんのでご注意ください。

随時、受託測定を承っております

検索はこちら

＜お問い合わせ先＞

株式会社コスミックコーポレーション 営業部

電話：03-5802-5971

E-mail:cc@cosmic-jpn.co.jp